

令和4年度第2回 名取市地域公共交通活性化推進協議会

次回検討内容の方向性について

(将来像や評価指標の検討の方向性)

4. 【基本的な方針】の検討	1
5. 【事業・実施主体】の検討	2
5-1. 地域公共交通の役割分担イメージ	3
6. 【計画の目標】の検討	4

令和4年8月30日

4. 【基本的な方針】の検討

《上位・関連計画での名取市の目指す方向性》

- 居住機能及び都市機能の集約とともに、公共交通をはじめとする交通ネットワークの形成によって、都市サービスを享受できる都市づくりを推進(国土利用計画)
- 利便性の高い公共交通の構築→利便性の高いバス体系等の構築等(総合計画)
- 主要な都市機能の拠点誘導と公共交通ネットワークでの接続(都市計画マスタープラン)
- 教育環境の整備の観点での通学環境の充実(名取市教育振興基本計画)
- 温室効果ガス排出抑制及び高齢化の進展を念頭に関連機関と連携した公共交通の利便性向上(環境基本計画) 等



課題①
各交通モードの運行ダイヤやネットワークの連携

課題②
高齢化や定住人口の増加、新たな賑わい拠点の創出に対応したネットワーク

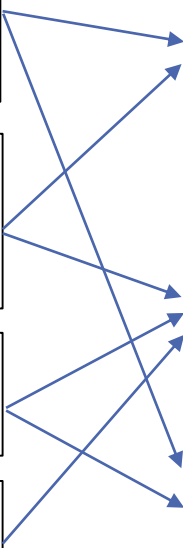
課題③
限定的な利用に留まる公共交通

課題④
将来の地域公共交通の維持・確保

方針(案)
都市機能の配置に対応し各交通モードが連携した利便性の高い地域公共交通ネットワークの形成

方針(案)
都市サービスの享受につながる地域公共交通サービスの維持・確保

方針(案)
環境負荷の低減に向けた公共交通の利用促進



5.【事業・実施主体】の検討

【基本的な方針】

方針(案)
都市機能の配置に対応し各交通モードが連携した利便性の高い地域公共交通ネットワークの形成

方針(案)
都市サービスの享受につながる地域公共交通サービスの維持・確保

方針(案)
環境負荷の低減に向けた公共交通の利用促進

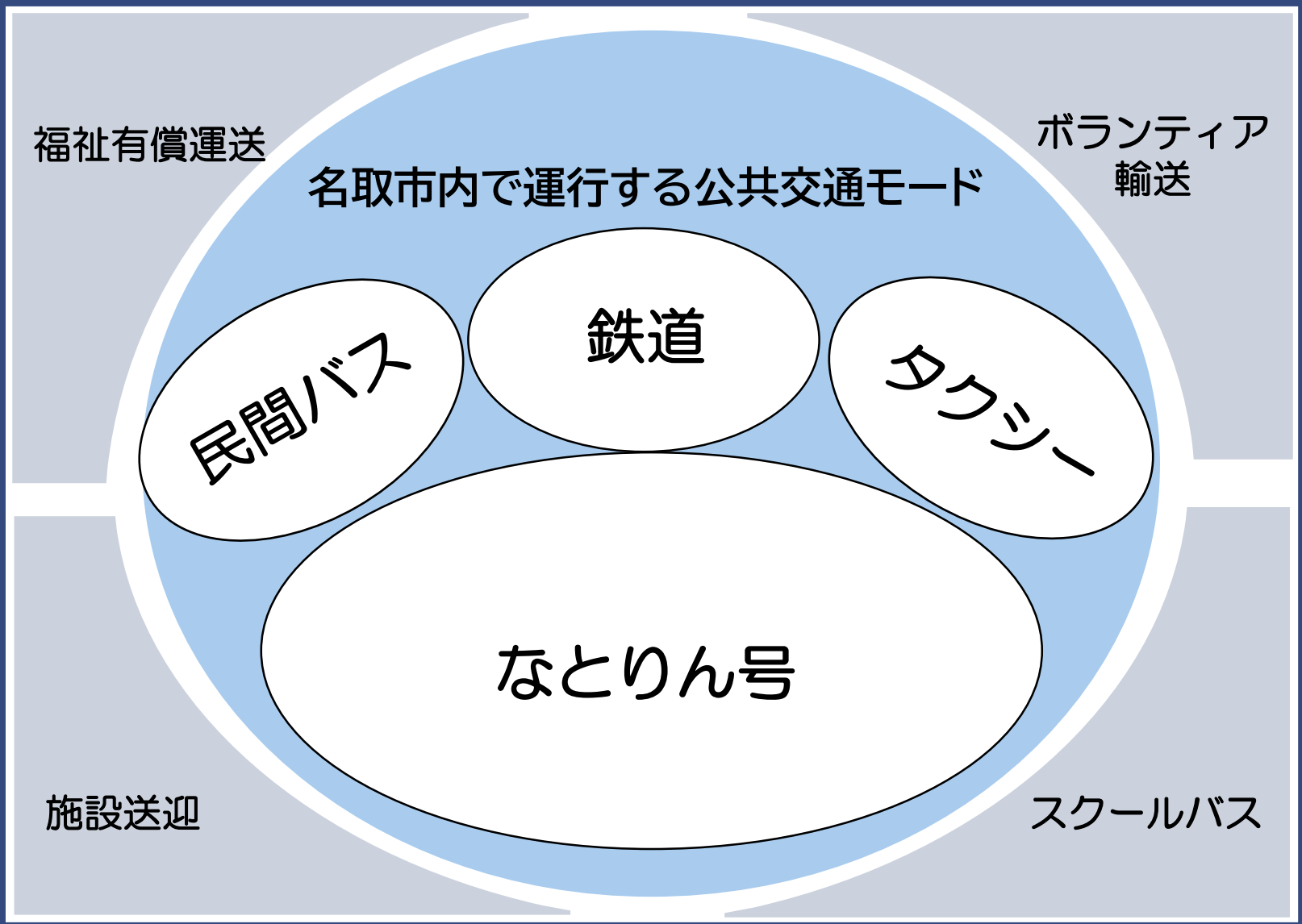
取組みの方向性

- 1)なとりん号の再編
 - 幹線路線・補助路線・デマンド交通での分担
 - 他交通モードとの運行ダイヤ調整 等
- 2)交通結節点の整備
 - 主要な交通結節点での乗り継ぎ環境整備 等
- 3)MaaSの検討
 - 市域内外をシームレスに移動できるサービスの検討 等
- 4)観光と連携したサービス検討
 - トレイルやサイクリングとの連携
 - 観光誘客施設へのアクセス改善 等
- 5)バス路線の維持・確保
 - 既存路線バス機能の維持・確保
 - 移動需要の喚起 等
- 6)有償運送等への支援
 - 市内での自助・共助の取組みへの支援 等
- 7)貨客混載の検討
 - 貨客混載による収益確保 等
- 8)モビリティ・マネジメントの実施
 - 環境負荷の低減に向け自動車以外の移動手段の提供
 - バスの乗り方教室 等

具体の事業・実施主体を今後整理

目指す将来像とともに、対応方針をキャッチフレーズやネットワークにとりまとめ(第3回目で具体的に検討)

国の示す”輸送資源の総動員“に該当する交通モード



6.【計画の目標】の検討

(1)将来像(キャッチフレーズ)の検討の方向性

- 市民・事業者・市及びその他の関係主体間で目指す将来像をイメージしやすくするためにキャッチフレーズを検討
- 上位・関連計画等で挙げられている移動に関するキーワードを盛り込み
→市の交通に関するマスタープランとして、他計画と整合
EX)機能の集約、利便性の高いネットワーク等
- 市民アンケートの結果や事業者ヒアリングで得られた意見から市民・交通事業者に受容してもらえるような計画

(2)将来像(ネットワーク)の検討の方向性

- 将来像(ネットワーク)では各交通モードのサービス水準を示す必要あり
- なとりん号の再編が市内の移動のベース
→市内の交通の骨格は鉄道+なとりん号
- 市北西部の移動手段を維持するために、宮城交通路線をネットワークのひとつとして位置づけ

(3)評価指標の検討の方向性

- 経年で定量評価できる指標である必要
- 評価のために新たな調査等が必要な指標は避ける
→各交通モードの利用者数、拠点ごとの乗降者数、総合計画や市政評価等でのアンケートでの市民評価等
- 将来像(ネットワーク)で示したサービス水準は評価指標として必須